JA全農ぐんま

食と農を未来へつなぐ

県本部通信

Monthly Zen-noh Gunma

9
2024 September
No.268

This month's photo

JA全農ぐんま 花木流通センター フラワーセンター　ジニア

©群馬県ぐんまちゃん

Contents

事業のうごき
JAピックアップ！
インフォメーション
アートクッキング
農業チャレンジャー
花木流通センター便り

ZENNOH_GUNMA

JA全農ぐんま
公式インスタグラム
情報発信中！
ぜひご覧ください

農とあゆむプロジェクト

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農ぐんま
https://www.zennoh.or.jp/gm/

事業のうごき

畜産農産部

▶酪農畜産課

○生乳の計画生産の推進
○初妊牛導入推進
○素牛導入推進
○種豚導入推進
○渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
（優良ＥＴ卵産子の活用促進）

▶米麦特産課

○令和５年産民間流通麦引取推進
○令和６年産民間流通麦集荷推進
○令和７年産契約推進（入札前推進）
○「麦とろ麺」特別推進（推進目標5,000ケース）
（７月～９月）
○こんにゃく生玉取扱推進
○こんにゃく荒粉・精粉販売推進（入札の実施）

園芸部

▶園芸販売課

○共計ホウレンソウ販売　（周年）
○共計チンゲンサイ販売　（周年）
○共計味ニラ販売　（周年）
○共計ニガウリ販売　（９月末日迄）
○共計オクラ販売　（９月末日迄）
○共計県統一規格露地ナス販売　（11月末日迄）
○共計県統一規格キュウリ抑制販売（12月末日迄）

▶園芸総合対策課

○ＪＡ野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
○農産物の安全・安心確保対策
○GAP取組支援
○園芸事業基盤再構築に向けた取組
○園芸作物生産実証農場の運営

▶園芸資材課

○ネポン暖房機第２期推進（第２期・７～９月）
○秋冬用野菜出荷資材予約・当用推進
（段ボール・パック・フィルム・果樹用資材他）
○温床資材予約推進
（農ポリ・トンネル資材・こんにゃくマルチ他）
○秋冬用野菜種子推進
（ほうれん草・ねぎ・きゅうり他）

生産資材部

▶肥料農薬課

○セルフブレンド推進
○水稲農薬当用推進
○園芸肥料農薬推進
○茎葉処理除草剤大型規格推進
○バンカーシート推進

▶担い手推進課

○大規模・系統未低利用生産者への推進支援
○ＪＡの出向く体制強化支援

▶施設住宅課

○賃貸アパート・個人住宅推進　（周年）
○カクイチ物置・広スペースハウス推進　（周年）
○住友不動産（株）「新築そっくりさん」推進　（周年）

生活燃料部

▶生活課

○蓄電池推進　（周年）
○シロアリ防除事業推進　（周年）
○ＪＡタウン取扱品目拡大
○ペット火葬推進　（周年）
○墓石事業取扱拡大推進　（周年）

▶石油課

○秋期オイルキャンペーン　（９月～11月）

▶ガス課

○ガス・でんき新規獲得推進　（４月～３月）
○給湯器燃料転換推進　（４月～３月）
○ガス器具推進　（４月～12月）
○ＪＡでんき農畜産物プレゼントキャンペーン
（７月～２月）

キュウリ自動収穫ロボット現地見学会

７月12日（金）、園芸総合対策課は園芸作物実証農場でキュウリ自動収穫ロボットの現地見学会を開催し、県内生産者やＪＡの関係者ら約80人が参加しました。同農場で６月から実証導入を開始したロボットは、農業スタートアップ企業のＡＧＲＩＳＴ（株）が開発したものです。当日は実証導入の状況報告や、ロボットによる収穫の見学のほか（株）ミライ菜園による病害虫予報アプリの紹介も行われ、多くの生産者および関係者が新たな技術に触れる機会となりました。

▲ロボットを見学する参加者ら

アグリマシンフェア2024

当県本部と県内ＪＡは７月13日（土）、14日（日）の２日間、総合センター内特設会場で「アグリマシンフェア2024」を開催し、約40社のメーカーが最新の農業機械や農業資材の展示販売を行いました。会場では、各メーカー担当者によるトラクターセルフメンテナンス講習会や農業用ドローン・直進アシストトラクターの各実演会などが実施され、作業省力化のための新技術や新製品の情報を提供しました。多くの組合員や家族連れで賑わい、２日間で約4000人が来場しました。

▲ 直進アシストトラクター実演会

GAP県域団体認証事務局設立会議

７月16日（火）、園芸総合対策課はＪＡビルで「GAP県域団体認証事務局設立会議」を行い、関係２ＪＡおよび群馬県の関係者らが出席しました。会議では、GAPの導入を支援する「県域団体認証事務局」の設立へ向けて、これまで各ＪＡで担ってきた申請や審査業務を当県本部が担うことで、申請にかかる費用や時間の削減を図ることなどが説明されました。当日は規約や要領が承認され、12月の本審査に向けて今後も準備が進められます。

カスタマーハラスメント対策研修会

７月25日（木）、コンプライアンス推進課はＪＡビルで「カスタマーハラスメント対策研修会」を開催し、推進担当者および給油所従業員の約60人が出席しました。当日は、日本クレーム対応協会代表理事の谷厚志氏を講師に招き、カスタマーハラスメントへの対応法についての講演が行われました。谷代表理事は、事例を用いながら、組織として事実を共有し適切に対応することの重要性を説明し、出席者らは現場での適切な対処について学びました。

▲ 講師の谷代表理事

ガス配送員保安研修会

７月25日（木）、ガス課は「LPガス配送員保安研修会」を行い、配送員ら14人が出席しました。研修会では、LPガス容器の出荷作業および配送時の留意事項についての再確認が行われたほか、昨今のLPガス事故発生状況に伴い、事故防止に向けての講義が行われました。

お肉の食育体験

７月27日（土）、小中学生向けの「お肉の食育体験」が全国食肉学校で開催され、県内の小中学生13人とその保護者らが参加しました。当日は、「いのちをいただく」をテーマにした授業のあと、豚の枝肉の見学やブロック肉のカッティング、ソーセージひねりを実施。昼食には参加者自身で手をかけた焼肉やソーセージを試食しました。参加者らは、緊張した面持ちで、骨に触れたり、どの部位の肉かを確認するなど、体験を通して食や畜産への理解を深めました。

▲ブロック肉のカッティング体験

▲焼肉やソーセージの試食

イオンモール高崎でキュウリ苗を配布

７月28日（日）、園芸販売課はイオンモール高崎でイオンモールキッズクラブ会員へ向けたキュウリ苗の配布を行いました。当企画は、野菜の生産過程について理解を深めるとともに、野菜の価値について考える機会を創出することを目的として実施され、300株の苗が配布されました。苗とともに絵日記形式の応募用紙も配布され、９月下旬まで開催される絵日記コンテストの周知が行われました。当日は当県本部職員が講師となり、キュウリの栽培方法についての説明も行われました。

JA嬬恋村県知事表敬訪問

嬬恋産夏秋キャベツが最盛期を迎えたことを受け、７月30日（火）、ＪＡ嬬恋村、群馬県、当県本部は山本県知事を表敬訪問しました。ＪＡ嬬恋村の黒岩組合長から山本県知事へ嬬恋高原キャベツが手渡され、黒岩組合長からは管内での生育状況や生産資材を巡る情勢について説明されました。山本知事はキャベツの有用成分含有料を分析し、結果を踏まえてPRしていきたいと話されました。

ニッポンエールから「神セブングミ」が発売

８月22日（木）、全農は２、３月に開催した「ニッポンエール全国ご当地グミ総選挙2024」の人気投票で決定した１位から７位までのグミ果汁をミックスして使用した「神セブングミ」を発売しました。同商品には、投票で５位となった「やよいひめ苺グミ」の果汁も使用されています。その他国産果実６種も使用したミックスフルーツ味の「神セブングミ」は８月22日（木）より全国のセブンイレブンで、26日（月）からは全国の量販店で販売されています。

【お問い合わせ先】
ＪＡ全農ぐんま 米麦特産課
TEL:027-220-2251
FAX:027-265-1415

～今月のおすすめ～「高原キャベツ８玉入り（JA嬬恋村）」

ＪＡ嬬恋村より「高原キャベツ」をお届けします！
嬬恋村と言ったら「高原キャベツ」。 夏秋キャベツ生産量日本一の産地。標高700～1400ｍの高原で栽培されている「高原キャベツ」は、昼夜の温度差と高原特有の朝露により甘味のある、美味しいキャベツです。

出荷期間
７月９日から順次出荷
※配送日指定はできかねますので、ご了承ください。

おいしい日本と暮らそう
JAタウン
www.ja-town.com

アクセスはこちら！
https://www.ja-town.com/shop/c/c3201

農業チャレンジャー

農チャレ

1齋藤さん
2ナスの収穫作業を行う齋藤さん
3収穫を控えたナス

「効率化進め負担軽減 魅力ある農業へ」

JA邑楽館林管内 齋藤 尭 さん

JA邑楽館林

＼ Profile ／

齋藤　尭（さいとう・たかし）さん

1986年生まれ37歳

栽培品目：白菜……3.2ha
キャベツ……2.8ha
トウモロコシ…50a　ナス…25a

趣味：バンド、バスケットボール、プラモデル

—今回の農業チャレンジャーは、JA邑楽館林管内でナスや白菜などを生産する齋藤さんです。

—就農時期は？

都内の大学を卒業後、就農を希望し埼玉県のネギ農家のもとで５年間働きました。そこで農業の基礎を習得し、その後地元である邑楽町で独立しました。

—就農のきっかけは？

就職活動時、自営業に憧れがあったことやものづくりに興味があったことから就農を決めました。

—就農されていかがでしたか？

下調べを入念に行い挑んだためか、おおむね想定通りにいきました。下調べの際には青年部の活動やJA、指導センターへ頻繁に足を運び、土地の取得や栽培技術などを全面的に教わりました。

—年間のスケジュールを教えてください

４月にナスを定植、６月から11月頃まで収穫します。また、同時進行で６月下旬から７月上旬にトウモロコシを収穫します。それから、３月２週目頃まで白菜。白菜が終わる頃から７月頭までキャベツを収穫しています。

—収穫量は？

メインで栽培している白菜は通常約300ケース、年末のピーク時にはそれを約400ケース出荷します。

—心掛けていることは？

仕事の効率化を進めたり、雇用する従業員の給与や休日取得、労働時間など雇用環境を整備するなど、農業を魅力的な仕事だと思ってもらえるよう日頃より改善を重ねる努力をしています。

—どんな時にやりがいを感じますか？

農業を経営する上で、作物の栽培だけでなく従業員の雇用など多方面から考え決断していきます。自分で決定権を持って経営することができるので、その面白さを実感できることがやりがいになっています。

—今後の展望をお聞かせください。

法人化に向けて、多様な働き方を意識した雇用を確立していきたいです。また、就農当初にお世話になった多くの人に感謝を込めて、これからは自分が新規就農者の力になっていきたいです。

—法人化の実現に向けて、規模拡大や雇用環境の整備に励む齋藤さん、今後さらなる活躍が期待されます。

JAピックアップ！
～JAの活動をご紹介～

JA利根沼田

利根沼田ブランドエダマメ「豆王」地域に広がるエダマメの輪

▲「豆王」の試食販売（7月5日、沼田市で）

沼田市のJA利根沼田農産物直売所で7月5日、利根沼田のブランドエダマメ「豆王」の試食販売と、「豆王」を使った加工品の販売イベントを行いました。

群馬県立利根実業高校の生徒2人と、JA担当者が来店者に茹でたエダマメの試食を手渡すと、「大粒で甘い」「茹で加減も塩加減も最高！」と笑顔で旬のエダマメを味わいました。

「豆王」を使った加工品の販売では、同校が開発したB級グルメの「えだまメンチ」を地元精肉店が協力し販売。また地元菓子店が企画・開発した「枝豆クリーム大福」も初めて店頭に並び好評でした。

JA担当者は「利根沼田地区では、高校生や企業が特産品のエダマメを使った加工品を開発、販売するなど、地域にエダマメの輪が広がりつつある。こういったイベントを開くことで、多くの人に美味しい「豆王」を味わっていただきたい」と話しました。

JA甘楽富岡

ナス新規栽培者圃場巡回で技術習得

JA甘楽富岡露地ナス生産部は、露地ナス栽培を始めて3年以内の生産者をバックアップし生産力を向上しようと、生産者ごとに圃場を巡る現地講習会を行っています。富岡市でナス栽培をする同JAアドバイザリーの飯塚秀雄さんと富岡地区農業指導センターの土屋裕司さんが同行し、圃場の様子を確認します。

7月8日には、生産者、指導センター、JA職員の計8人が出荷最盛期を目前に控えた2箇所の圃場を巡回し草勢管理や病害虫の有無、誘引紐の状態や追肥の状況を確認しました。

新規栽培者からの質問には、飯塚さんと土屋さんが丁寧に返答し、新規栽培者らは摘葉や病害虫防除について熱心に話を聞き、大いに栽培意欲を高めました。

この取り組みは、個人ごとの畑に応じた栽培管理方法を現地指導し技術習得してもらうことが目的です。昨年は、新規栽培者の平均で目標であった単収6トンを超える7トンを達成し、今年も6トンを超えるよう栽培を強化していきます。

◀葉の裏の病害虫を説明する飯塚さん（左）（7月8日、甘楽町で）

JAみどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更になることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
今年もくだものの季節到来　はるなくだもの街道／JAはぐくみ	9月2日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※9月8日(日)	AM 8:00～ 8:30
親子で楽しく農業体験！／JA利根沼田	9月9日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※9月15日(日)	AM 8:00～ 8:30
安心して暮らせる毎日をサポート！／JA厚生連	9月16日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※9月22日(日)	AM 8:00～ 8:30
六合の花、スプレー菊（案）／JAあがつま	9月23日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※9月29日(日)	AM 8:00～ 8:30
群馬で生き続ける蚕糸業／碓氷製糸	9月30日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※10月6日(日)	AM 8:00～ 8:30

中村 柚貴子アナ

Art Cooking

ピーマンとイカのオイスターソース炒め

材料

2人分　（1人分138kcal）

ピーマン……5個	オイスターソース…大さじ1
赤唐辛子……1本	酒……大さじ1弱
冷凍紋甲イカ……60g	醤油……大さじ1/2
長芋……70g	酢……大さじ1/2
サラダ油……大さじ1	塩……少々

作り方

1. ピーマンは種を取り縦に千切りに、赤唐辛子は種を取り細切りにする。
2. 冷凍紋甲イカに格子の切り目を入れ0.5～1㎝幅の千切りにする。
3. 長芋の皮をむき1㎝角の棒状に切る。
4. フライパンに油を入れて熱し、赤唐辛子・長芋を炒める。
5. 4に少し火が通ったら、イカ・ピーマンを加えさらに炒める。
6. 全体に油が回ったら、調味料を鍋はだから加えてからめ、味を調える。
7. お皿に盛りつけて完成。

Food adviser 石垣 惠美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

花木流通センター便り

秋野菜苗入荷始まります

上旬　ブロッコリー・カリフラワー・キャベツ

中旬　白菜・オータムポエム

KABOKU 花木流通センター

JA 新鮮ぐんま みのり館

	営業時間	定休日
花木流通センター	4・5月:9:00~17:00 6~3月:9:00~16:00	4月・5月:無休営業 6月~3月:毎週火曜日定休
みのり館	4~3月:9:00~17:00	年末年始を除いて無休営業
榛名十文字うどん	4~3月:11:00~14:30	

住所・お問合せ
前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。
《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番　JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp

□発行／令和6年9月1日発行　□発行人／高田　宗徳　□ホームページアドレス／https://www.zennoh.or.jp/gm/　□E-mail／info-gunma@gm.zennoh.or.jp
□発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部　管理部企画管理課　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地　TEL027-220-2223　Fax027-220-2229
R100 古紙配給率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。